

「広島神楽」定期公演へようこそ!

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

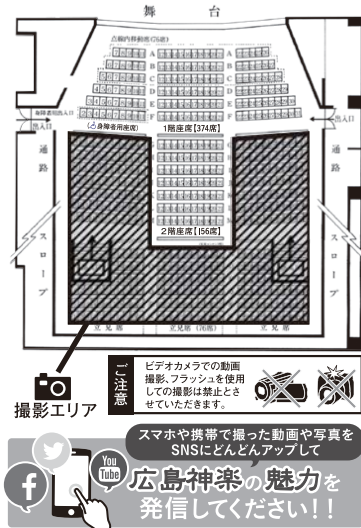
- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について

→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの**動画撮影、フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアでお願いいたします。



5月24日のタイムスケジュール

出演：吉和神楽団 (廿日市市)

19:00～開演

19:05～第一幕『塵倫』

(おおよそ 40 分)

～幕間 (休憩)～

20:00～第二幕『八岐大蛇』

(おおよそ 40 分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。

本日の記念に是非ご参加下さい。
また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。
(舞台へは靴を脱いでお上がください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

よしわかぐらだん

吉和神楽団プロフィール ～廿日市市吉和～

昭和54年頃、吉和地域で古くから伝わっていた伝統芸能の神楽を復活させようと地域の有志や若者達が集まり神楽団が結成されました。

演目は、六調子系・旧舞の「八岐大蛇」「大江山」「塵倫」「天神」「羅生門」「安達ヶ原」、八調子系・新舞の「滝夜叉姫」など、多くの演目があり、各地域の神楽大会や、奉納神楽、イベント等の出演など幅広い活動を行っています。

また、後継者の育成に取組み、地域内外の子ども達に神楽を指導し、子ども神楽の出演も行っています。

第一幕『塵倫』(じんりん)

人皇第14代仲哀(ちゅうあい)天皇の御代、異国より日本征伐を企てて数万の軍勢が攻めてきました。

その中に塵倫という身に翼があり、黒雲に乗って虚空を自由に飛び回る神通自在の大将軍がおり、国々村里を荒らし、多くの人民を滅ぼしていました。しかし、我が国にはこの大悪鬼にかなう者がいませんでした。

そこで仲哀天皇自ら不思議な霊力のある十善万乘(じゅうぜんばんじょう)の神変不測の弓矢を持って、神通力を持ち戦術にも長けた鬼を退治されたという物語です。

【出演】	大太鼓 … 佐藤 信治	仲哀天皇 … 小田 真也
	小太鼓 … 山本 博之	高麻呂 … 山崎 翔太
	手打鉦 … 栗田 直樹	塵 倫 … 山本 正也
	笛 … 真田 健太	

第二幕『八岐大蛇』(やまたのおろち)

出雲の国に暮らす足名稚(あしなづち)・手名稚(てなづち)老夫婦には八人の娘がいました。しかし年毎に一人またひとりと大蛇に飲み取られ、七人まで娘を失いました。そしていよいよ八人目の娘が飲み取られる季節となり、老夫婦と八人目の娘・奇稲田姫(くしいなだひめ)は嘆き悲しんでいました。そこへ高天原(たかまがはら)から舞い降りた須佐乃男命(すさのおのみこと)が通りかかり、その訳を聞きます。

尊は、大蛇退治を決め、老夫婦に八塩折(やしおり)の毒酒を造らせ酒を入れた樽の後に姫を立たせます。やがて、どこからともなく大蛇が現れ、毒酒に映った姫の影を飲み干していきます。酔いの回るほどに暴れ狂い、しだいに酔い伏してしまいます。これを待ち構えていた尊は、壮絶な戦いの末、大蛇を退治します。

大蛇の腹を切り裂くと、一本の刀が出てきます。これを天叢雲剣(あめのむらくものつるぎ)と名づけ、天照大神(あまてらすおおみかみ)に捧げます。そしてめでたく奇稲田姫を妻とし、平和で豊かな出雲の里で暮らしていくという物語です。

【出演】	大太鼓 … 鈴政 憲雄	須佐之男命 … 山本 博之	大 蛇 … 山本 正也	大 蛇 … 小田 真也
	小太鼓 … 真田 健太	足名稚 … 山崎 英治	大 蛇 … 齋藤 拓也	大 蛇 … 齋藤 勝也
	手打鉦 … 研谷 浩樹	手名稚 … 栗田 直樹	大 蛇 … 山崎 翔太	大 蛇 … 小田 真
	笛 … 梅田 ゆみこ	奇稲田姫 … 深瀬 憲司		

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。